

労働組合について

労働者・労働組合とは

JR九州には、駅・工務・乗務員・事務職など色々な労働があります。他の会社にも工場や土木の現場から商店の売り場まで働く場所や仕事の種類は様々です。しかし共通して言えることは、みんな自分では資本を持たないので労働力を売り賃金をもらい生活をしているということです。賃金とは労働力の再生産費です、身体を休め、自分や家族が文化的な生活ができ余暇に使える賃金でなければなりません。労働者と使用者は対等であるとなつていきます。しかし現実には労働者は一人では力が弱いのが事実です。みんなで集まり労働組合を作り働く者の立場で会社に対して要求をしていかなければいけません。労働者は要求で団結し、その団結で闘わないと自分達の賃金や労働条件は守れません。みんなが労働者であるという事を意識し仕事をしていくことが大変重要です

学習する事の重要性

職場では、不平や不満が多くあります。しかし、それを声に出すことは出来ていないと思います。又、何を言っているかわからないし、自分の働き方について何が良く何が悪いのか、わからない状態だと思います。自分たちが働かされる会社の規則・休日や賃金、労働者の権利について学習できればと考えています。労働者の武器は学習することで身につく理論です。その理論を職場で実践していくことで必ず自分達の働き方が変わってくると思います。

自分の職場を働きやすい環境にするため学習をしましょう。分からない事があれば近くの国労組合員に声をかけてください

就業規則は
必ず職場に置いて
見れるようになって
いるんだよ！



もっと知りたいけど、どうしたら・・・



若い力

第 1 号

2014年4月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515